

## 第3学年2組 道徳科学習指導案

令和元年10月30日(水) 第5校時  
在籍 男子15名 女子13名 計28名  
授業者 中嶋 玲子

### 1 主題 本当の友達 内容項目【B-(9) 友情、信頼】

### 2 本時のねらい 友達のことをよく考えて、友達を大切にしようとする態度を養う。

教材名 『なかよしだから』(出典 新しいどうとく3 東京書籍)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

小学校中学年の目標の一つに「思いやりの心を持ち、友達と互いに信頼し合うこと」がある。中学年になると、気の合う友達同士で仲間を作って遊ぶような集団での活動がこれまでになく盛んになる。しかし、自分の利害に基づく衝突が強くなることも見られる。このような特性から、この時期においては、健康的な仲間集団を積極的に育成していくことが大切であり、友達のことを互いによく理解し、信頼し、助け合うことを中心として指導していく必要がある。

子供たちにとって、友人関係は重要な人間関係の一つである。健全な仲間集団を育成するとともに、真の友情を育むためには、ときには忠告や注意し合えるような信頼関係がなければならない。友達とのよりよい関係の在り方を考えることにより、友情を深めることが出ると考える。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、男女ともに仲が良く、クラス全員でレクをして遊んだり、友達が困っていたらすぐに助けたり協力したりできる児童が多い。その反面、注意の言葉がきつかったり、言い方が強かったりして言い争いや喧嘩になってしまうことがある。そこで、よりよい友情関係を築くためには、どうすることが相手のためになるのかを考え、互いに高め合っていけるような関係の大切さに気付くようにしたい。

児童へ行った意識調査では、次のような結果であった。(27名中)

- |                                      |          |          |
|--------------------------------------|----------|----------|
| ① 親友といえる友達がありますか。                    | いる(27名)  | いない(0名)  |
| ② その親友に助けてもらったことはありますか。              | はい(19名)  | いいえ(8名)  |
| ③ もし、親友が間違っていることをしてしまったら、親友に注意できますか。 | できる(25名) | できない(2名) |

#### 【言える理由】

間違っているところは直してほしいから(6)。親友だから(4)。怪我をしたら困るから(2)。友達だから(2)。仲がいいから(2)。先生にその子が叱られてしまうから。注意は誰にもすべきことだから。間違っていることをやっているから。助けてあげたい。いけないから。

【言えない理由】

・親友だから。

④これまで、親友または友達にまちがっていることやおかしいことをはっきりと言ってあげたことがありますか。

【ある】 11名

親友だから。間違ったことをさせたくないから。みんなのめいわくになるから。喧嘩になるから。間違っていることだから。またやってしまうかもしれないから。助けたかったから。

【ない】 16名

いけないことをしていないから(4)。恥ずかしいから(2)間違っていないから。うそみたいだから。遊びたかったから。ふざけていたから。

アンケート結果をふまえて…

親友と呼べる仲の良い友達をもつ児童が多いが、親友が間違っていることをしてしまったとき注意したかという問いについては、親友だから言えなかったり、恥ずかしいから言えなかったりという理由から、仲が良いからこそなかなか注意できないこともあるのではないかと感じる。そこで、本時では、これまで築いてきた関係性を大切にしながらも、間違いを伝えることも友達として大切な気持ち・行動だということを授業を通して深めていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

「ぼく」は、すっかり忘れてしまった算数の宿題を、仲よしの実さんに教えてもらおうと思いつく。前日、実さんにカーブの投げ方を教えてあげたから、そのお返しに教えてくれるだろうと考えたのである。ところが、実さんから「なかよしだから、なお教えられないよ。」と断られる。ここから、本当の友達について考えることができる教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うこととする。

①算数の宿題を忘れ、なかよしの実さんに頼ろうとする場面

ここでは、仲良しの実さんに頼ろうとする気持ちを考えさせ共感させる。

②「なかよしだから、なお教えられないよ。」と言われた場面

ここでは、「実さん」の立場になり、教えるか教えないか、自分が支持する考えとその理由を明確にさせる。

③家に帰って考える場面

ここでは、「ぼく」にとって「実さん」はどんな友達かを、家に帰った「ぼく」がどう考えたのかを考えさせ、本当の友達とは何かを考えさせる活動につなげる。

#### 4 研究主題との関わり

##### 研究主題

自分との関わりを通して価値について主体的に考え、  
多様な感じ方・考え方と出会い交流する道徳

##### 【仮説】

教材文を自分事としてとらえ価値について自分の考えを持ち、友達のことを考えての行動に対して他の考えと比べ合うことができれば、本当の友達・親友についての考えを深められるだろう。

##### 【手立て】

本時では、仲の良い友達に対して自分ならどうするかと自分事としてられ、周りの友達と意見を比べ合う手立てとして「心のものさし」を取り入れていく。葛藤場面において、ネームプレートを使い自分の意思表示をさせることで、クラス全体の様子や、誰がどんな思いを持っているかが視覚的に分かりやすだけでなく、微妙な位置の違いからさまざまな考え・思いを引き出したい。また、展開部分の後半では、はじめに思った位置から変化しネームプレートを動かしたい児童がいれば動かせて、どんな理由から動かしたのかを聞き、より「友達」についての考えを深めたい。

#### 5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 友達アンケートの結果を知り、本時のねらいを知る。		
		「本当の友だち」ってどんな友だち？	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開</p>	<p>2 教材「なかよしだから」の読み聞かせを聞き、登場人物の心の変化を中心に話し合う。</p> <p>(1) 算数の宿題を忘れ、なかよしの実さんに教えてもらおうと思いついたとき、「ぼく」はどんなことを考えただろう。</p> <p>(2) みんなが「実さん」なら教える？教えない？</p> <p>(3) 「なかよしだから、なお教えられないよ。」の意味を家に帰って考えた「ぼく」。「ぼく」にとって「実さん」はどんな友達だろう。</p> <p>3 本当の友達について考える。(ワークシートの記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実さんとはなかよしだから、きっと見せてくれるだろう。</li> <li>・ぼくと実さんの仲だから、大丈夫だろう。</li> <li>・昨日カーブの投げ方を教えてあげたんだからお返ししてくれるだろう。</li> </ul> <p>&lt;教える&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちが困っているから。</li> <li>・昨日カーブを教えてもらったから、お返しで。</li> </ul> <p>&lt;教えない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブの投げ方と、宿題は一緒じゃないから。</li> <li>・僕が教えてしまったら、彼のためにならないから。</li> <li>・自分の力でやるのが宿題だから。</li> </ul> <p>・「ぼく」のことを考えてくれる友達。</p> <p>・嫌われるかもしれないけど、「ぼく」のことを思って行動してくれる友達。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親友。</li> <li>・本当の友達。</li> <li>・ずっと大切にしたい友達。</li> </ul> <p>・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしの実さんに頼れる、と思っているときの気持ちを考える。</li> </ul> <p>・「教える」と「教えない」のカードを提示し、考え方の違いが視覚的にもわかるようにする。</p> <p>・名前カードを利用し、黒板に考えを示す。</p> <p>・自分が支持する考えとその理由を明確にすることができるようにする。</p> <p>☆自分なりの考えをもって話し合っていたか。</p> <p>・帰宅後、「実さん」の言動を振り返って「ぼく」が考えたことを想起させる。</p> <p>・意見が変わった人は名札を動かしてよい。</p> <p>・本当の友達について考える活動につなげる。</p> <p>・ワークシートに記入させ、自分自身を振り返り、ねらいとする道徳的価値「について深めさせる。</p> <p>☆「本当の友達」とはどんな友だちかを自己を振り返って考えているか。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(終末)</p>			

6 ほかの教育活動との関連

事前指導	道徳の時間	事後指導
<p>(運動会) 友達と励まし合い、応援し合っ て活動する。</p> <p>(通年) 自分以外の班のメンバー3人 の良いところ探しをし、一日一 回以上ほめる活動をするこ とで、他者を尊重する態度を育 てる。</p>	<p>教材名「いいち、にいつ、いい ち、にいつ」 ・友達と互いに理解し、助け合 っていこうとする態度を養う。</p> <hr/> <p>本時「なかよしだから」 ・どうすることが本当に友達 のためになるのかをよく考えて、 相手を大切にする気持ちを育 てる。</p>	<p>図工鑑賞 友達が何を考えて工夫し、 制作したのかを理解しよう としたり、作品のよいとこ ろを伝え合ったりすること で友達を理解する気持ちを 育てる。</p> <hr/> <p>通年 ふわふわ言葉を考えてカー ドに書いたり飾ったりする ことで、互いを大切にする 態度を育てる。</p>

7 評価の視点

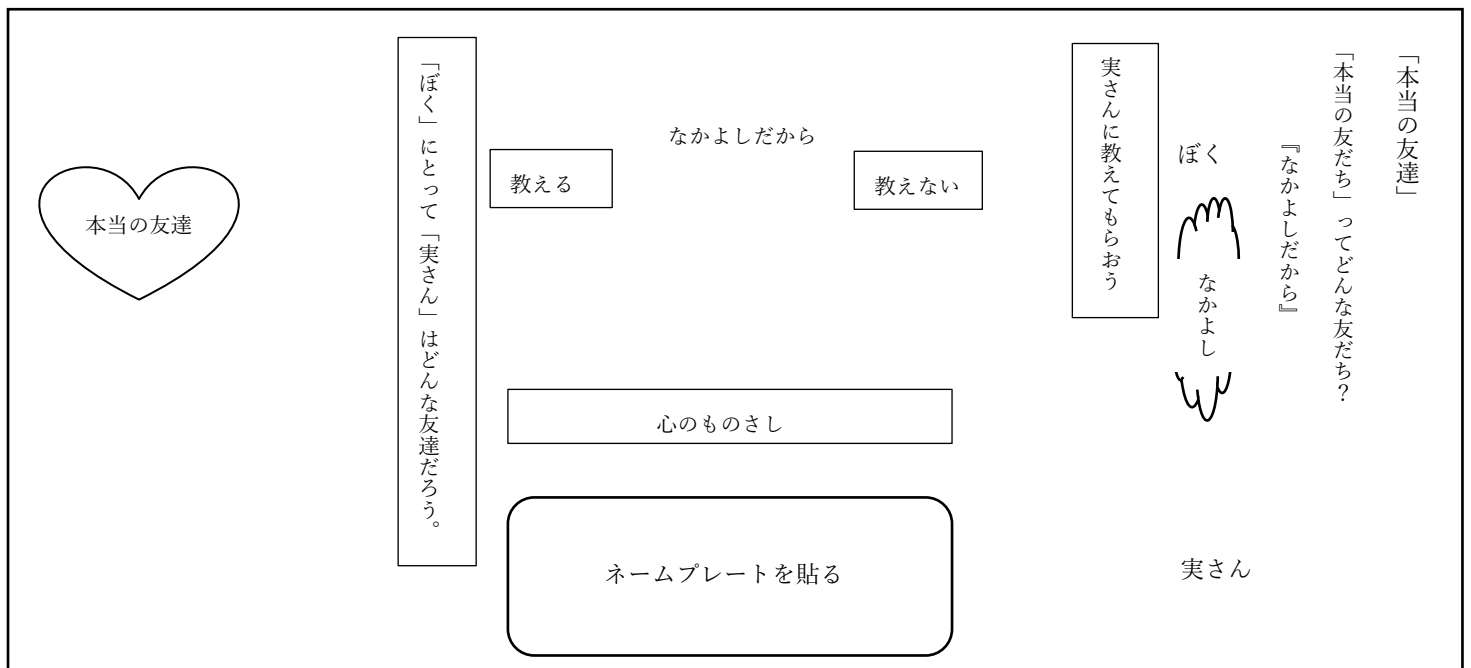
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・登場人物を自分に置き換えながら、それぞれの心情を捉え話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・本当の友達とは、どんな友だちかを、自己を振り返って考えている。

8 板書計画



アンケート

名前 ( )

① 親友といえる友達がありますか。

いる ・ いない

② その親友に助けてもらったことはありますか。

ある ・ ない

③ もし、親友が間違っていることをしてしまったら、親友に注意できますか。

できる ・ できない

それはなぜですか。

( )

④ これまで、親友または友達にまちがっていることやおかしいことをはっきりと言ってあげたことがありますか。

ある ・ ない

それはなぜですか。

( )